

IISIA Monthly Report

Intelligence to Move Forward.

6
June

株式会社原田武夫国際戦略情報研究所
マンスリーレポート6月号

一体、得をするのは誰なのか？
ちらつく米欧勢の影とその思惑

沸騰？朝鮮半島情勢！

特集：

朝鮮半島をさえぎる黒い霧
～哨戒艇「天安号」沈没に見える米欧勢、
そして東アジア勢の思惑を読み解く～

“情報リテラシー”、人間そして宇宙

～いわゆる公開情報から如何にして
新たな「気づき」を得るべきなのか？～

「二大政党制」という幻想
～イギリス総選挙の結果から見えること～

ETFを巡る今と未来



巻頭言



IISIA CEO 原田武夫

去る5月初旬、私たち＝日本勢がゴールデン・ウィークの長期休暇を謳歌している最中に遠く離れたギリシア勢を巡る“デフォルト(国家債務不履行)”危機が「最高潮」を迎えました。その後、金融マーケットでは順次、「崩落」局面が進展、日本マーケットでもすわ強烈な円高かと思わせるほどの為替マーケットの激変と、平均株価ベースで10000円を下回る株価の下落に見舞われました。

もっとも“激変”が生じたのは何も金融マーケットにおいてだけではありません。東アジア勢の中では北朝鮮問題を巡り一気に緊張が激化。韓国海軍の哨戒艇が“撃沈”されるという前代未聞の展開の中、「朝鮮戦争の再来か」との声すら聞かれるほどの衝撃を呼びました。地政学リスクといえど中東地域ばかりが注目されてきた感がありますが、いわばコインの裏と表が交代したかのように、彼の地では米国勢の仲介による中東和平を巡る間接交渉が進められつつあります。以上を踏まえる限り、読者の皆様は思わず嘆息交じりで思われているかもしれません。—— **「やはり最後に選ばれるのは日本勢、そして東アジア勢であるということは無かったのではないか」**と。こうした読者の方々が抱かれているであろう当然の疑問に対して、真正面からお答えするのが、このIISIA マンスリー・レポート2010年6月号です。

今月号の特集は焦眉の課題である「朝鮮半島」を取り上げました。「朝鮮半島をさえぎる黒い霧」と題し、いわゆる哨戒艇「天安」号沈没事件について、各国勢の思惑と今後のあり得べき展開と動向を探ります。「なぜこのタイミングで発生したのか」「米国勢、そして韓国勢は一体何を目的に拳を振り上げているのか」、そして「北朝鮮勢は本当のところ何にどこまで関与していたのか」等、読者の皆様が疑問に思っ

ていらっしゃるであろうポイントを網羅的に、そしてIISIAならではの視点から深く考察しています。

また、“デフォルト(国家債務不履行)”危機がギリシア勢以上に深刻な意味合いを持つ**英国勢において行われた総選挙を巡る比較政治学的な観点からの分析(第2章)**、そして昨年(2009年)春からの「実体経済の回復無き金融バブル」の中でとりわけ“喧伝”されてきた感のある**金融商品「ETF」を巡る考察(第3章)**の他、ご好評頂いております**“情報リテラシー”に関する連続誌上講座「第3回」(第4章)**と、今回も盛りだくさんの内容でお送り致しますIISIA マンスリー・レポート。最終章を飾ります**「予測分析シナリオ・アップデート」**と合わせ、是非とも読者の皆さま方の“情報リテラシー”のブラッシュ・アップのためにお役立てください。

東京・2010年6月、国立市のIISIAにて記す

CONTENTS

2010 JUNE

巻頭言	(CEO 原田 武夫)	1
目次		2
第1章 今月の特集	(CEO 原田 武夫)	3
朝鮮半島をさえぎる黒い霧 ～哨戒艇「天安」号沈没事件に見える米欧勢、 そして東アジア勢の思惑を読み解く～		
【Column】		19
原田武夫の読書散歩 (その8) 「立憲君主制を守るツールとしての内奏」 (CEO 原田 武夫)		
第2章 分かる！日本の政治	(研究員 矢野 督)	24
「二大政党制」という幻想 ～イギリス総選挙の結果から見えること～		
第3章 金融マーケットを探る	(研究員 北浦 優子)	39
ETF を巡る今と未来		
【Column】		53
IISIA 社会貢献コラム 「IISIA の社会貢献事業をご紹介します」 (社会貢献事業担当)		
第4章 誌上連載講座(第3回)	(CEO 原田 武夫)	55
“情報リテラシー”、人間そして宇宙 ～いわゆる公開情報から如何にして新たな「気づき」を得るべきなのか？～		
第5章 今月(2010年6月)の重要日程		71
第6章 予測分析シナリオ・アップデート	(CEO 原田 武夫)	72
